



## 1 はじめに

- ・急速に広まったSNSの世界  
 (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)  
 日常の通信手段として定着も……児童の実態は
- ・ICT(情報通信技術)を活用した授業の推進  
 児童一人一台のタブレット(令和3年度より)
- ・コロナ禍に伴う学びの変化(令和2年3月より)  
 人との交流の制限、オンライン授業への模索



情報社会に適応した力を育む教育課程編成と、  
 授業のあり方についての検討

が、必要となる

そこで、

このような教育課程の推進が望まれる

- ・児童がネット端末を使い、  
 自ら学習を進められる
- ・情報モラルと安全性を  
 身につけられる
- ・ICTの利点を活かした授業の実践

人と人とのつながりを広げ、  
 さらに豊かな人間性を育む

## 2 研究の概要

### (1) 研究のねらい

情報社会にも適応できる力を育む  
 教育課程編成に向け、ICTを活用した  
 実践を通して校長の関わり方を明らか  
 にする。

## (2) 研究の経過

### ① 第一次（R2年度）

- ・ ICT活用状況、及び、家庭のインターネット環境調査
- ・ 実践交流と課題の集約

### ② 第二次（R3年度）

- ・ タブレット活用状況、及び、情報モラル調査
- ・ 実践交流と課題の整理

### ③ 第三次（R4年度）

- ・ 研究のまとめと成果の共有

## 3 研究の内容

### 大きく3つ

- (1) 児童の家庭におけるインターネット使用状況調査
- (2) ICTを効果的に取り入れた授業実践
- (3) 情報社会に適応できる力を育む教育課程の編成

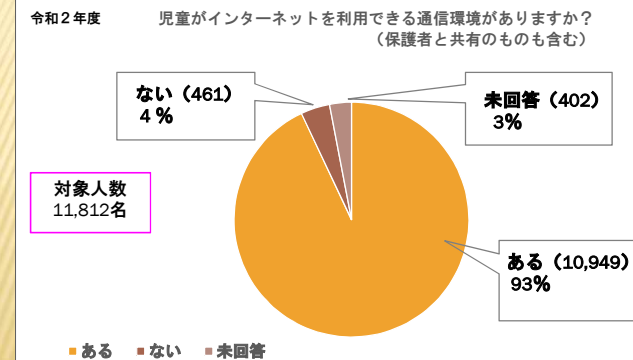
## (1) 児童の家庭におけるインターネット使用状況調査 山形市教育委員会総合学習センターより資料提供

### ① インターネット環境調査の分析

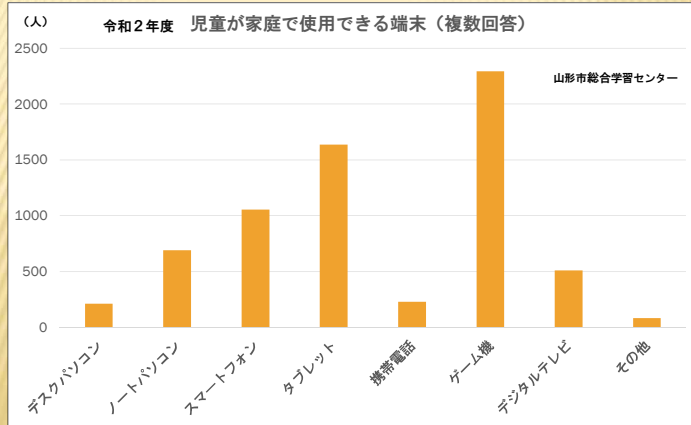
### ② 児童のインターネット使用状況 分析 <3年間の推移 H29～R1>

### ③ 分析のまとめ

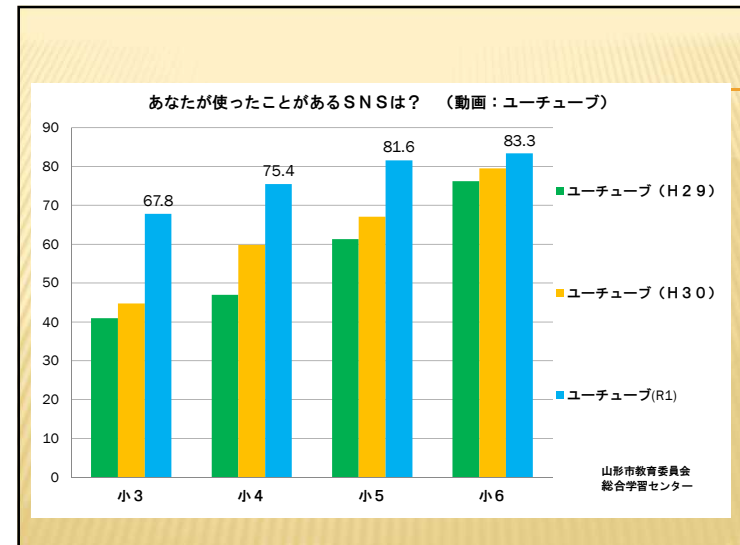
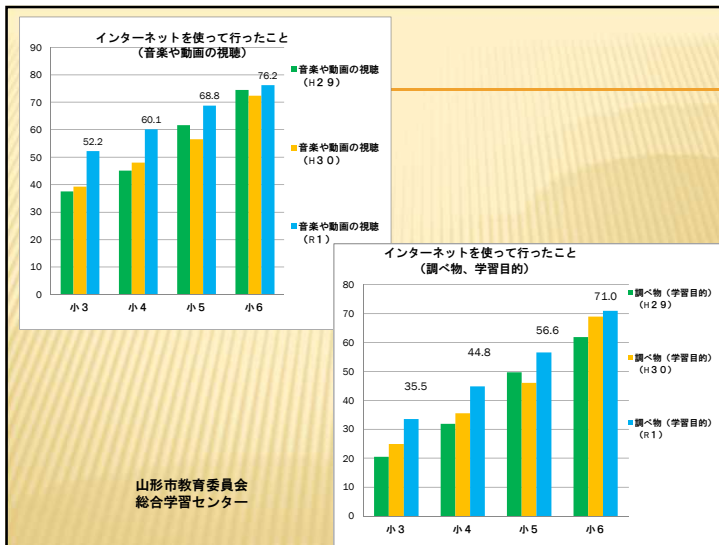
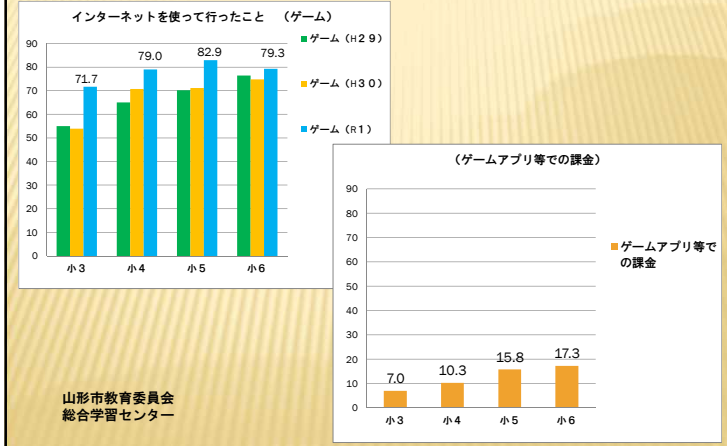
### ① インターネット環境調査の分析

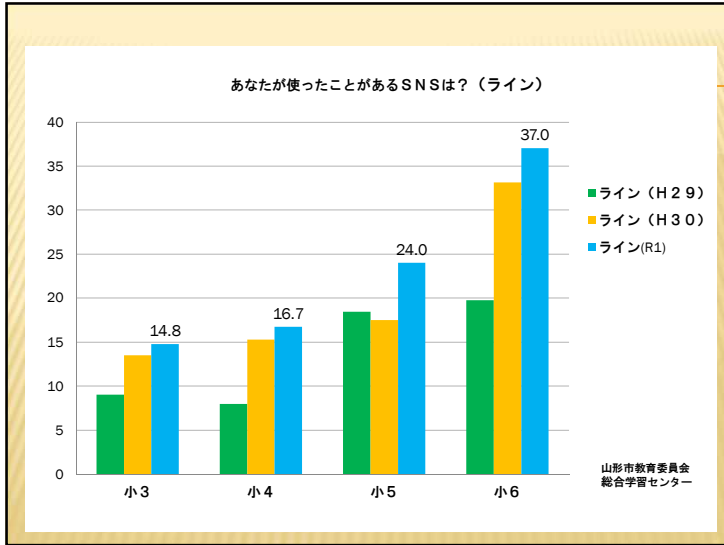


① インターネット環境調査の分析



② 児童のインターネット使用状況分析 <3年間の推移 H29〜>





- ### ③ 分析のまとめ
- ◆ ゲーム機やタブレットの端末
    - ゲームへの課金も約10%
    - ユーチューブやライン (SNS)
  - ◆ 情報モラルやネットの危険性についての学習
    - ??? 不明
  - ◆ 家庭でのインターネット使用 (小学3年~6年)
    - 1日1時間以上という児童が30%超
  - ◆ 家庭でのインターネット環境に配慮
    - 校長会の働きかけ
    - 山形市がモバイルルーターを貸し出す

- ## (2) ICTを効果的に取り入れた授業実践
- ① 児童一人1台のタブレットを生かす<実践紹介>
  - ② タブレット以外のICTを効果的に活用<実践紹介>
  - ③ 情報モラルや、危険性について学ぶ<実践紹介>
  - ④ 実践の結果

### ① 児童一人1台のタブレットを生かした実践

実践1 第3・4学年複式 総合「環境学習」  
社会科「学校のまわり・地図」

児童による  
課題設定  
ゴミを拾おう

タブレットで  
記録

社会科で作った地域の地図に、  
ゴミの状況も書き加えよう

↑ ↓

地域の方も困って  
いたよ。  
良い方法は  
ないから  
どうだろう。  
相談してみ  
たか

**校長の関わり** 地域の実態や特性を理解し、地域活動推進員の活用も視野に入れながら、カリキュラムマネジメントの作成を教員と進めてきた





制作した看板



リサイクルン

**回覧** 地区自治推進委員会より、地区の皆様へ 2021.7.1

近頃、地区内の道路脇などに「ポイ捨て」のごみが目立ちます。

**事例①** 小学校の3・4年生が、「クリーン作戦」を行い、学校→国道458号→ライオンセンター→学校のルートでたくさんのごみを拾ってきました。その時の大量のごみを分別した一部です。

**事例②** 町内の分水路に、ビニル袋に入った同じようなごみが、6月だけで10個以上流れ着いています。県道17号のわかみクリーンアップ付近の水路に投棄された物と思われる。



「町家からず多かった空き缶（お湯の出が少い）」  
「分水路に流れ着いた袋」  
「空き缶の量も多い」  
「空き缶はほかほかのようなのと食品、空き缶など」

他にも、歩道脇に、弁当の入れ物が入ったコンビニ袋が捨てられているなど、様々な場所でごみが目立ちます。これらは、通りがかりの地区外の方が捨てたものかも知れません。自治推進委員会では、関係機関や各団体に連携して「ポイ捨て」を減らすための取り組みを進めていきたいと考えています。

「ポイ捨て」は犯罪です！  
もし、「ポイ捨て」現場に出会ったら、みんなて声をかけてください。  
また、各地区の自治推進委員会や自治推進員にご連絡ください。

タブレットで写真や文章を送ったよ。  
看板やご当地キャラクターも作りましたが、こちらはパソコンを使いました。

## ② タブレット以外のICTを効果的に活用した実践

**実践2**  
キーワード「主体的に学ぶ」 → 気づく・考える・動き出す


「豊かなくらし」 → 学び方・知識・技能の獲得  
認識の深まり  
コミュニケーションの深まり  
思考力・活用力の向上

**授業づくりのコンセプト**

- ・身の回りや暮らしの中から問題を見つける
- ・子ども同士や、教師・地域の人との対話によって考えを広める（深める）
- ・児童自身が学習活動を意味づけ、学びを通じて自分の成長を自覚できる

## 実践2 第6学年「生き方について考えよう」

図画工作科「12年後のわたし」  
総合「先輩の生き方に学ぶ」  
総合「プレゼン作成」(お手本を参考にして)




ぼく・わたしがヒーロー  
6年 Aさん

ニコニコ小学生◎

生年月日：6月30日☺  
好きな食べ物：いちご♥ えび  
好きな遊び：鬼ごっこ  
好きな曲：Dynamite  
好きな芸能人：竹内涼真 吉沢亮  
中条あやみ  
好きなアーティスト：TWICE, BTS, ITZY🎸

## 実践2 第6学年「生き方について考えよう」

**ここがすごい! その①**



いつも笑顔でいる。自分が笑顔だと周りの人も笑顔になる。笑っていると楽しい。

**校長の関わり**  
「児童の自己有用感や自尊心」を大切にしたり取組にICTを活用するカリキュラムマネジメントの作成

- ・機器の確保
- ・個人情報への配慮
- ・先輩の生き方に共感できるように(講師の人選)

**ここがすごい! その②**

走ったり動くことが大好き。バドミントンをしている。練習はきついけどとっても楽しい。

**ここがすごい! その③**

やるときは やります。やらないときは やりません。勉強はしっかり やります!! いろんなことに 熱心

**ここがすごい! その④**

6年間がんばった～  
たくさん歩いて体力がついた!  
持久走が得意になった

⇒ 修了式で発表



**実践4 情報教育年間指導計画**

学年	リテラシー・情報活用力		情報モラル	
	前半 4月～9月	後半 10月～3月	前半 4月～9月	後半 10月～3月
1年	・基本的な情報の取扱い ・ソフト、本格的な操作			
2年	・自分が作 (活用版)			
3年	・キーボード (ローマ字) (活用版)			
4年	・ローマ字 (活用版)			
5年				
6年				

**校長の関わり**  
**普段から情報をキャッチ**

- ・児童同士の会話や保護者からの相談に、情報モラルや、ネットに潜む危険性についての学習が必要
- ・校長自らが、道徳や情報教育の年間計画作成に積極的に関わる  
(資料の収集、先進校の実践紹介)

①インターネットを利用して、必要な情報を集めることができる。  
②パソコンを使って、簡単な文章作成や資料作成をすることができる。

①パソコンを利用するための取扱説明の約束を理解し、実行することができる。  
②ネットを使ったコミュニケーションの約束を知り、トラブルを事前に回避する能力を身につける。

**④ 実践の結果**

- ◆ ICTの活用により、校外の人々との交流が広がった。情報モラル教育についても力を入れていく。
- ◆ 児童は、ICTの活用方法を習得するのが早い。指導者の研修が急務である。
- ◆ 学年の発達に応じた“身につけたいスキル”。

もう一度、ふり返ってみて.....

**(3) 情報社会に適応できる力を育む教育課程の編成**

- ・児童がネット端末を使い、自ら学習を進められる
- ・情報モラルと安全性を身につけられる
- ・ICTの利点を活かした授業が実践される

3視点を重視して推進していきたい

**(3) 情報社会に適応できる力を育む教育課程の編成**

- ① 令和3年度「児童一人1台のタブレット環境」に関するアンケート調査結果
- ② 令和4年度 教育課程の実際 <実践紹介>

### ① 令和3年度「児童一人1台のタブレット環境」に関わるアンケート調査について

- 目的**  
「一人1台のタブレット」活用状況等について調査を行い、さらに有効な活用法や、豊かな人間性を育む充実した教育課程の編成制を進める。
- 対象者**  
山形市内小学校37校中、12校を抽出。  
児童（通常学級を中心に全学年の児童） **3,872名**  
教員（担任または実際に指導をしている教員） **204名**
- 実施期間**  
令和3年10月～11月

### 調査内容

＜児童用アンケート内容＞

Q1 自分専用のタブレットを使って、「良かった」と思うことや、「心配だ」と思うことがあったら教えてください。

Q2 自分一人で出来ることの、全部の（ ）に○を付けましょう。他にも出来ることがあれば、「 」に書きましょう。

（ ） 正しい準備と後片付け （ ） 電源を入れる、切る  
 （ ） 文章を作る （ ） 写真や動画を撮る （ ） 絵を描く  
 （ ） 調べる （ ） 音楽を聴く （ ） 動画を見る  
 （ ） チームズを使って写真や動画、文書などを送る  
 （ ） チームズで会話をする （ ） e-ライブラリ・アドバンスを使う  
 （ ） スクラッチなどのプログラミングソフトを使う  
 （ ） スカイメニューを使う

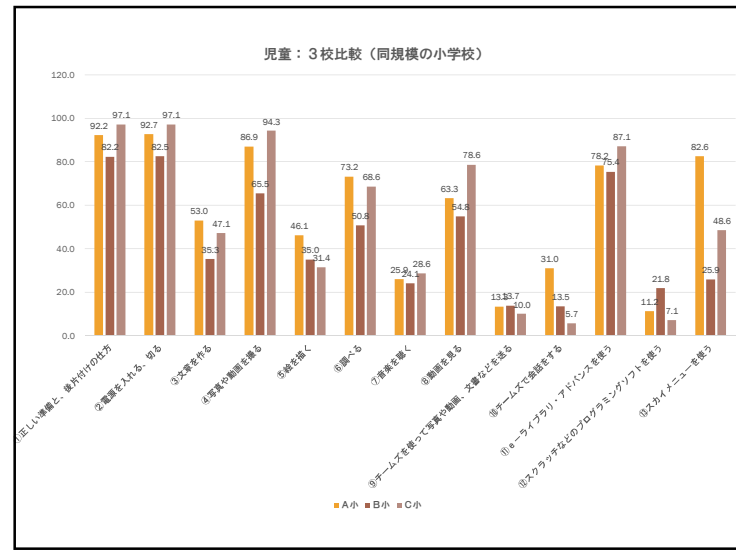
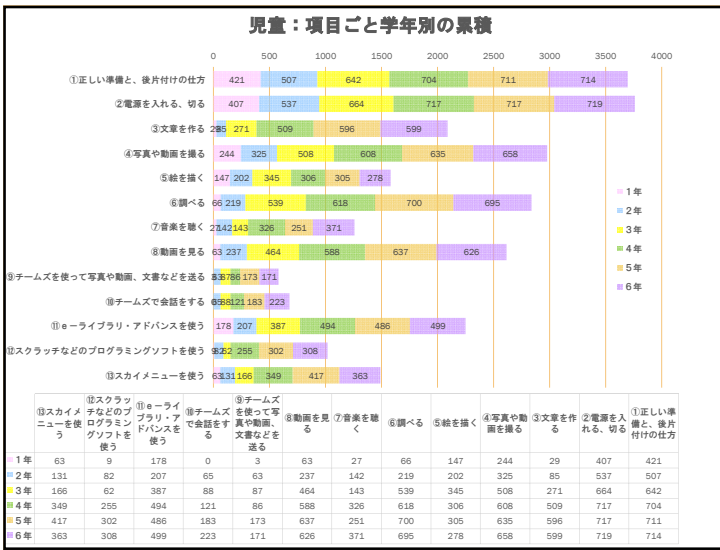
その他「 」

Q3 タブレットを使った学習で、楽しかったことや、分かりやすかったことがありますか。あったら教えてください。

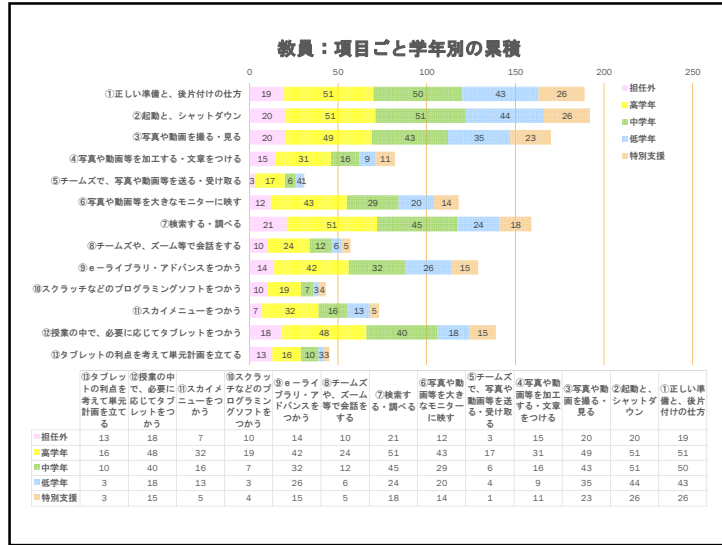
Q4 タブレットを使った学習で、つまらなかったことや、分かりにくかったことがありますか。あったら教えてください。

Q5 これからの学習で、タブレットをどんなふうに使ってみたいですか。あったら教えてください。

教員用のアンケート内容も同じようになっています。







**アンケート結果から（課題）**

**児童** △ チームズの活用とプログラミングソフト、スクリーンメニューの使用が不足

△ 同一校の同学年であっても、学級によってできる割合に差がある

**教員** △ 指導できることと、児童が操作できることの相関性が高いのは理解しているのだが.....

△ タブレットの利点を考えて単元計画を立てることが不十分

**学校** △ 児童のできる項目の割合に、学校間の差が認められる。

**記述回答から**

**児童** ◎自分専用、自分のペースで進められる。  
◎eライブラリを友達と競って楽しかった。  
◎外国語の授業で音楽を聴いた。

▲パスワードを友達に見られる  
▲タブレットを壊さないか心配だ。

**教員** ◎PC室の調整が必要ない。  
◎写真等の蓄積と活用。文章を書く際の推敲が簡単。  
◎ICT機器の活用スキルが伸長。

▲タブレットの不具合や故障への対応。  
▲家庭への持ち帰りのルール。

**② 令和4年度 教育課程の実際**  
A小学校

学校教育目標：「自分大好き！ 友だち大好き！ （地域名）大好き！」

経営の基本方針・重点 <学校を創る3つの重点と主な取組>

- 1 自尊感情**
  - 児童会活動の活性化 ・ 体験活動の充実 ・ いのちの教育
- 2 確かな学力**
  - 校内研究の推進（タブレット） ・ ユニバーサルデザイン
  - 学習規律の確立
- 3 地域**
  - 稲作活動 ・ 地域の教材化 ・ 知る 学ぶ 発信する

「全ての教職員が全ての子どもへの担任」の意識で取り組む教育活動  
自主・自立の精神や創造性・主体性の育成

校内研究  
主題「学びを深めるために～学びを『つなぐ』ツールの活用～（1年次）」  
視点 ◇学びを深めるための手段や手立て  
◇タブレットの活用の工夫

## A小学校

### 校長の関わり 「ICTの活用を重視した教育課程」の編成のため

**校内会議でのコンセプトを重視**

- ・「めざす子どもの姿」
- ・「情報社会に適応して生きていく

### 児童の育成

**令和4年度は、新しいことへの挑戦を恐れず  
に取り組む 見直しと改善のサイクルを！**

## A小学校

### 情報教育全体計画

**学校教育目標**

**自分たすき「友だちたすき」(地域)たすき!**

- (1) 精神とともにより学びあえる子ども (いのち)
- (2) 精神とともに、学びあえる子ども (学び)
- (3) よるきとともに、ともに生きる子ども (協働)

**めざす子どもの姿**

**目的をもって調べ表現できる子ども**

○ 目的をもって、適切な手段を選びながら情報を集めることができる。  
○ 情報を活用し、わかりやすくまとめて表現することができる。

**情報教育カリキュラム**

学年	低学年	中学年	高学年
目的	身の回りや身近な事象や現象に興味を持ち、自ら調べたり活動したりすることができる。	目的をもって調べ学習ができる。相手や状況に応じて、情報を利用し、まとめることができる。	目的をもって適切な手段を選び、必要な情報を集めることができる。
達成	○ 学校探検 (生活) ○ アラビア数字 (生活) ○ 学校の調べ (生活) ○ アルムを学ぶ (生活) ○ プログラミング (生活)	○ 私たちが住んでいる (社会) ○ 学校の調べ (生活) ○ 私たちが住んでいる (社会) ○ アルムを学ぶ (生活) ○ プログラミング (生活)	○ 私たちの国 (社会) ○ 世界の調べ (生活) ○ プログラミング (生活) ○ プログラミング (生活)
評価	○ 学校探検 (生活) ○ アラビア数字 (生活) ○ 学校の調べ (生活) ○ アルムを学ぶ (生活) ○ プログラミング (生活)	○ 私たちが住んでいる (社会) ○ 学校の調べ (生活) ○ 私たちが住んでいる (社会) ○ アルムを学ぶ (生活) ○ プログラミング (生活)	○ 私たちの国 (社会) ○ 世界の調べ (生活) ○ プログラミング (生活) ○ プログラミング (生活)

**情報教育の目標**

情報教育	指導体制の整備	外部との連携
○ 情報教育 ○ ネットワーク ○ 学校図書館	○ 情報教育推進委員の育成 ○ 情報教育推進委員の研修 ○ インターネット活用に関するワークショップの開催 ○ 外部講師の活用	○ 内部関係との連携関係 ○ 保護者との連携 ○ 他小学校との交流の機会の創出

### プログラミング教育 全体計画

**プログラミング教育の意義**

「プログラミング教育」は、児童が自ら調べ、表現する力を育て、問題解決能力を高めるための重要な教育活動である。

**プログラミング教育の目標**

児童が自ら調べ、表現する力を育て、問題解決能力を高める。

**プログラミング教育の推進**

教員研修、教材開発、実践の推進などを通じて、プログラミング教育の質を高める。

**外部との連携**

保護者や地域との連携を通じて、プログラミング教育の効果を高める。

## A小学校

### 情報モラル指導全体計画 (低・中学年)

指導内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年	対応する児童等
○ 1年次: 電話通話・住所・所属機関など、個人情報にほんごんを管理する	○	○	○	○	○	○	教科
○ 2年次: 個人情報の取り扱い	○	○	○	○	○	○	教科
○ 3年次: インターネット上の情報の取り扱い	○	○	○	○	○	○	教科
○ 4年次: インターネット上の情報の取り扱い	○	○	○	○	○	○	教科
○ 5年次: インターネット上の情報の取り扱い	○	○	○	○	○	○	教科
○ 6年次: インターネット上の情報の取り扱い	○	○	○	○	○	○	教科

### 情報モラル指導全体計画 (高学年)

指導内容	5年	6年	対応する児童等
○ 5年次: インターネット上の情報の取り扱い	○	○	教科
○ 6年次: インターネット上の情報の取り扱い	○	○	教科

## A小学校

### プログラミング教育年間指導計画 (学習可能なもの)

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年												
2年												
3年												
4年												
5年												
6年												

※学習活動の分類 A: 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの  
B: 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの  
C: 教育課程内で各教科等とは別に実施するもの (学校裁量等の時間)

※上記以外で、習得済みのPCにインストールされている「ジャストスタイル」でプログラミングを通じた教科等の学習が可能なものは以下のとおり。

(チャットプログラミング)  
○1: 1年「おはよう」(おはよう)

(ブロックプログラミング)  
○1: 1年「おはよう」(おはよう)  
○2: 2年「おはよう」(おはよう)  
○3: 3年「おはよう」(おはよう)  
○4: 4年「おはよう」(おはよう)  
○5: 5年「おはよう」(おはよう)  
○6: 6年「おはよう」(おはよう)

### B小学校 (年間指導計画の一部)

領域	学習内容 と 到達目標	部品への分解	① 部品を組み合わせて物事を表現できる
活動スキル	記録や編集	① 写真や映像、音声の加工・編集ができる	
	入力やデータ管理	② ファイルの管理ができる	
	ウェブ検索	③ サイトの構造を理解して情報を見つけられる	② 観点を考えながら情報を分類できる
	図書の利用	④ 目次や索引を活用して情報を見つけることができる	③ 情報同士の関係を図やプログラムで表現できる
	インタビューの利用	⑤ 下調べをしてインタビューするべき質問を選ぶことができる	④ 問題解決の手続きを順序・繰り返し・分岐などを組み合わせて表現できる
	アンケートの利用	⑥ 目的に合った質問の形式や内容を考えられる	⑤ 試作やシミュレーションを通して問題解決の方向性や改善案を見いだす
	メモをとる	⑦ 箇条書き、単語でポイントをまとめられる	データの傾向や変化
	口頭で発表する	⑧ (資料を効果的に示しながら) 身振りや声の抑揚など伝え方を工夫する	⑦ 新しい情報技術にどう関わるか説明できる
	情報の取捨選択	① 選んだ根拠を説明することができる	発信時の配慮・責任
	情報の読み取り	② 複数の情報から共通点・相違点を見つけられる	① 発信する情報に責任を持つ
探究スキル	整理と分析	③ 情報を組み合わせて新たな意味を見いだす	関係する法や権利
	論の組み立て	④ 相手を説得するために論理を組み立てられる	② 著作権や肖像権に留意して情報を扱う
	表現の工夫	⑤ 伝えたいことに応じて表現を工夫できる	使用場所や時間の管理
	聞き手(受け手)の意識	⑥ 相手の反応を見て伝え方や内容を工夫する	③ 情報機器を用いる場所や時間を自分で管理できる
	学習計画づくり	⑦ 自分で計画を立てることができる	使用ルールやマナー
	評価(振り返り)と改善	⑧ 振り返りをもとに学びややりたいことを考えられる	④ ルールやマナーを相手と一緒に守りきる
			セキュリティ保持
			⑤ なりすましやウイルスなどの危険を理解する
		個人情報の管理	⑥ 自他の情報が伝わる範囲を考えながら行動する
		情報社会の理解と生活	⑦ 情報社会の中でどう生きるか説明できる

### B小学校

**校長の関わり**  
**最初に、**  
**教員と、ICT活用の「内容領域と項目」**  
**について検討する**

**次に、**  
**令和3年度の1年間をかけて、担任は**  
**実践した学習が、どの項目の、どの領域**  
**になるのかを指導の記録として残すことを**  
**確認した**

### B小学校 (年間指導計画の一部)

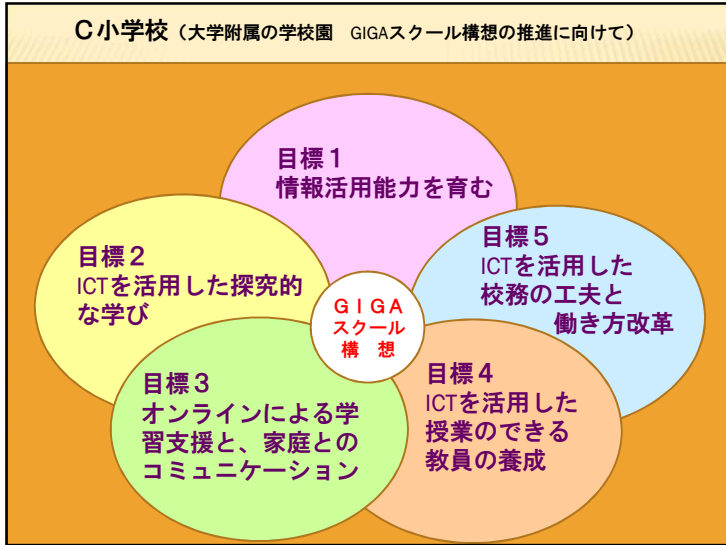
#### ICT機器(タブレット)活用状況(6年)

国語	社会	算数	音楽	図工	家庭	体育
QRコードを読み取り者について調べ活動【傍道】	○eライブラリ(単元、単元まのめり、線対称の練習問題)	○eライブラリ(点対称)	○曲に関連することを調べ、曲をみながら、曲の美しさをカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○描画前の画像をカメラで撮影し、Teamsのファイルに提出し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○水と風の動きや形、雨をカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○走っている様子や歩み切れない様子、走り回りの様子などを動画で撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】
○地域の図書館、文学館、博物館のホームページを調べ活動【地域の美術を活用しよう】	○資料収集、調べ学習	○資料収集、調べ学習	○曲に関連することを調べ、曲をみながら、曲の美しさをカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○描画前の画像をカメラで撮影し、Teamsのファイルに提出し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○水と風の動きや形、雨をカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○走っている様子や歩み切れない様子、走り回りの様子などを動画で撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】
○二十四節季を風景の写真などに学習【春のいぶき・夏のみどり】	○資料収集、調べ学習	○資料収集、調べ学習	○曲に関連することを調べ、曲をみながら、曲の美しさをカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○描画前の画像をカメラで撮影し、Teamsのファイルに提出し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○水と風の動きや形、雨をカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○走っている様子や歩み切れない様子、走り回りの様子などを動画で撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】
○意見をWordで作成【『字がポケット』について、考えを深めよう】	○資料収集、調べ学習	○資料収集、調べ学習	○曲に関連することを調べ、曲をみながら、曲の美しさをカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○描画前の画像をカメラで撮影し、Teamsのファイルに提出し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○水と風の動きや形、雨をカメラで撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】	○走っている様子や歩み切れない様子、走り回りの様子などを動画で撮影し、動画を共有【鑑賞・『木影』の動きをとらえて画像を見ながら、発表会【家・クリン大作戦】】

### B小学校 (年間指導計画の一部)

#### 第6学年 1

領域	学習内容	到達目標	1月	2月	3月
国語	読書や視聴覚教材の活用	① 写真や映像、音声の加工・編集ができる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	入力やデータ管理	② ファイルの管理ができる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	ウェブ検索	③ サイトの構造を理解して情報を見つけられる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	図書の利用	④ 目次や索引を活用して情報を見つけることができる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	インタビューの利用	⑤ 下調べをしてインタビューするべき質問を選ぶことができる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	アンケートの利用	⑥ 目的に合った質問の形式や内容を考えられる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	メモをとる	⑦ 箇条書き、単語でポイントをまとめられる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	口頭で発表する	⑧ (資料を効果的に示しながら) 身振りや声の抑揚など伝え方を工夫する	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	情報の取捨選択	① 選んだ根拠を説明することができる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	情報の読み取り	② 複数の情報から共通点・相違点を見つけられる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
算数	整理と分析	③ 情報を組み合わせて新たな意味を見いだす	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	論の組み立て	④ 相手を説得するために論理を組み立てられる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	表現の工夫	⑤ 伝えたいことに応じて表現を工夫できる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	聞き手(受け手)の意識	⑥ 相手の反応を見て伝え方や内容を工夫する	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	学習計画づくり	⑦ 自分で計画を立てることができる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
	評価(振り返り)と改善	⑧ 振り返りをもとに学びややりたいことを考えられる	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
			【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
			【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
			【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り
			【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り	【学習】「春」の読み取り



C小学校

目標1  
情報活用能力を育む

大学附属の小学校・中学校 児童生徒のICT活用能力の評価計画

○評価について：下記掲載の評価規準が概ね達成している（B基準）児童生徒の割合を年2回（9月、2月）評価し、報告する。（対象学年小2、小4、小6、中3）

学年	低学年	中学年	高学年	中学校
1	1. 音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	1. 音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	1. 音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	1. 音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。
2	2. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	2. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	2. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	2. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。
3	3. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	3. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	3. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	3. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。
4	4. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	4. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	4. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	4. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。
5	5. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	5. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	5. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。	5. テキスト、音声、画像、インターネットの活用による学習の促進。

◇ 評価対象学年（小2、小4、小6、中3）  
◇ 3段階で評価（ABC）  
◇ 年2回の評価（9月、2月）

C小学校

校長の関わり

- ・ 教員との話し合いを通じ、「発達段階に応じた学習内容」や「系統性」等について確認した
- ・ 小学校の考えを、学校園全体の協議会にも反映させた
- ・ 児童や教員が使いやすいようにICT機器の環境整備に努めた

4 成果と課題

<成果>

- (1) 児童のインターネット使用状況や、タブレットを使った授業での児童と教員の困り感を調査  
→ 授業の改善と推進へ
- (2) 教科横断的、そして、ICTを効果的に活用した授業  
→ 人と人とのつながりが育まれていることを確認
- (3) 学校教育目標の実現に向けた教育課程の編成では、「人とのつながり」と「ICTの活用」をキーワードに  
→ 校長の関わり方を改めて考える機会を得た



### <課題>

- (1) 日々、発展しているICT環境に適応する  
→ 情報教育の各分野の計画を意識的に  
見直す（環境整備の面も含む）
- (2) 教員の指導力向上に継続して取り組む必要  
→ 研修時間の確保、外部講師の招聘等
- (3) 担任の得意・不得意に拘わらず、  
必ず（学年等で）学習する内容の確認が必要

### 5 提言

校長は、児童の「豊かな人間性」を育むために、次のことに積極的に関わっていく

- (1) ICTも有効に活用した「人とつながる喜び（交流）」を基本にした計画的・系統的な教育課程の編成について全職員が参画
- (2) 日進月歩のICTの世界において、児童のICT活用能力を高められるような教員の研修と環境整備のあり方について検討

